

【公報種別】実用新案法第14条の2の規定による訂正明細書等の掲載

【部門区分】第1部門第3区分

【発行日】令和7年1月10日(2025.1.10)

【登録番号】実用新案登録第3245127号(U3245127)

【訂正の登録日】令和6年12月19日(2024.12.19)

【登録公報発行日】令和5年12月27日(2023.12.27)

【出願番号】実願2023-3929(U2023-3929)

【国際特許分類】

A 45 D 33/36 (2006.01)

10

A 45 D 34/04 (2006.01)

【F I】

A 45 D 33/36 Z

A 45 D 34/04 535Z

【訂正書】

【提出日】令和6年11月11日(2024.11.11)

【訂正の目的】実用新案登録請求の範囲の減縮

【訂正後の請求項の数】4

【訂正の内容】

【実用新案登録請求の範囲】

20

【請求項1】

把手に対してパフが回転可能な回転式パフであって、

略円筒状のパフを外面に有するパフ部と、把手と、把手とパフ部との間に連結された軸体とを備え、

軸体の一端にパフ部が連結されると共に、軸体の外周面にベアリング部材が嵌装され、
ベアリング部材の外周面が把手に連結されることで、把手に対してパフ部が回転可能で
あり、

また、

パフ部が、パフの内部の空洞に接合する略円筒状のパフ支持部材を備え、

パフ支持部材の内周面に円環状の突条が設けられ、

30

その突条に係合する凹溝が、軸体の外周面に設けられ、

パフ支持部材の突条と軸体の凹溝の間の摺動を介しても、把手に対してパフ部が回転可能
であると共に、

パフ支持部材の突条と軸体の凹溝の間の接合を介して、把手に対してパフ部が着圧自在で
ある

ことを特徴とする回転式パフ。

【請求項2】

把手に対してパフが回転可能な回転式パフであって、

略円筒状のパフを外面に有するパフ部と、把手と、把手とパフ部との間に連結された軸体
とを備え、

軸体の一端にパフ部が連結されると共に、軸体の外周面にベアリング部材が嵌装され、
ベアリング部材の外周面が把手に連結されることで、把手に対してパフ部が回転可能で
あり、

また、

パフ部が連結される軸体の他端が略円筒状であり、その開放端部から略軸方向へ少なくとも
1本の切れ込みがあり、

その切れ込みの位置する軸体の内周面上に、拡径部材が挿入される
ことを特徴とする回転式パフ。

【請求項3】

パフ支持部材の開放端部から略軸方向へ少なくとも1本の切れ込みがあり、パフ支持部

50

材の開放端部の径が伸縮可能であることを介して、軸体に対してパフ部が着脱自在である
請求項 1 または 2に記載の回転式パフ。

【請求項 4】

把手が中空の略棒状であり、その中空部に軸体が収容される
請求項 1 または 2に記載の回転式パフ。

10

20

30

40

50